

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日			
Plus + daysつくば西平塚校		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		教室数が多いため、活動に応じて教室を分けている。また、クールダウンの際には空き教室を提供している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		不足ないように職員数を配置することができている。お子様の状況によってはマンツーマンで対応をしている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動ごとに部屋を分けている（青い部屋は運動、オレンジの部屋は机上課題等）また、視覚的に分かりやすいように部屋の前にカードを貼る等の支援をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃、消毒を行っている。また、活動ごとに部屋を分けているので、運動活動と机上活動が同じ空間で行うれないよ	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育やクールダウンの際には個別の場所の提供をしている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日振り返りや改善策について話す時間を設けている。参加できなかった職員には申し送りを残している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年評価を行い、業務改善につながるように努めている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングにて職員の意見を把握する機会を設けている。その内容を業務改善につなげるとともに全職員に周知	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	第三者による外部評価は行っていないが、2026年1月に茨城県による運営指導を実施いただき、フィードバックを受けた

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に内部研修を開催している。動画や資料を用い全員が研修を受けるようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、公表している。事業所HPの“教室情報”にて公表している	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを行う際には全職員で行っている。モニタリングにてお子様と保護者のニーズを聞き取り、それを踏まえ支援計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理者が支援計画を作成するにあたり、ミーティング内にて支援者の意見を聞き取り、計画に反映させている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画が完成した際には全職員に周知を図っている。また、情報共有ツールを使用しいつでも見返すことができるよう	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		全職員が日々気づいた事柄を共有し、支援に結びつけている	フォーマルなアセスメントは用いていないが、必要な場面があれば取り入れたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの趣旨にのっとり、計画書に項目を明記している。また、項目に沿った具体的な支援内容を明記している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保護者様やお子様からアセスメントした内容をプログラムに反映させている。また、プログラムの立案は担当制にしており、目的に沿った活動を提供している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		実態に合った活動の提供となるよう、意図のない固定化はしないようにしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		それぞれの活動において個々の目標に沿った支援を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必要な情報を共有し、チームで支援にあたっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		気づいた点だけでなく改善点も共有することで、次の支援に活かしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		情報共有ツールに記録を残している。全職員が閲覧することができ、支援の検証・改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一度モニタリングを行っている。また、発達状態や環境の変化に応じて適宜行う場合もある	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が出席しているが、状況に応じてその他の職員の参加も考えている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		主に障害福祉、保育、教育機関と必要に応じて連携をとっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との間で情報共有を図っている。一貫した支援が行えるように支援内容の共有・調整をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		該当者なし。今後移行するお子様がいたら情報共有を図っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		サービス提供後にHUGというシステムでその日行った活動や状況・課題について共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		実施していない。地域の研修や集まりの情報はHUGにて共有している
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしている。併せて疑問点等あればその場でお答えできるように努めている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時、成長状況によっては随時意向を確認する機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明の後、同意のサインを頂いている。説明時に疑問点等あればお答えしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		職員間で共有・検討をし、助言や支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は児童発達支援と合同で保護者会を行った。保護者同士の交流の更なる強化を図りたい	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		電話や面談にて迅速に対応している。また、職員間で共有し適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一度Plus+days通信を発行している。また、SNSを活用し活動報告を発信している	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		関係機関と連携を図る際には事前に同意を得ている。また、守秘義務について全職員入職時に説明を行っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		イラストカードや説明文を用いた視覚的なサポートを取り入れている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今年度は実施なし。ボランティアや地域住民との関わりを作っていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは誰でも閲覧できるように事業所内に設置している。また、訓練は実施後記録に残している	保護者様へのマニュアルの周知が不十分であるため、保護者会等の場で説明の機会を設けたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練だけでなく、非常災害時に必要な備品の準備・点検を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時また、定期的に聞き取りを行っている。その際関わり方や緊急時の対応について確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつを保管している棚にお子様のアレルギー有無の一覧表を掲示している。アレルギーをお持ちのお子様ご利用時にはアレルギーの含まれた食材やおやつを出	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画は定期的に見直している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		必要に応じてHUGにて発信している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報共有ツールを用い、全職員が閲覧できるようにしている。また、危機意識の低下を防ぐため、各職員が月1回の頻度で	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回研修を実施している	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に必要に応じて同意書へサインをいただくことを説明している。また、対象となるお子様は個別支援計画に記載し	
----	--	---	--	--	--